

大学の世界展開力強化事業（平成23年度採択）中間評価結果

大 学 名	早稲田大学
タ イ プ	B - I
構 想 名	早稲田大学グローバル・リーダーシップ・プログラム

◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価) <b style="font-size: 2em;">A	これまでの取り組みを継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
(コメント)	<p>本プログラムは、米国の相手大学との連携・協力のもと、今後益々重要性が高まると考えられるアジア・太平洋地域における真のグローバル・リーダーを、日米両国で育成することを目的とした意欲的な取組であり、少数精鋭型のプログラムが実施されている点は評価できる。</p> <p>米国の相手大学へ派遣される早稲田大学の学部学生について、意欲ある66名（8学部）の中から10名を選抜し、平成25年度から留学を実現している。10名は米国の相手大学において、日本と米国、東洋と西洋の哲学・歴史等の教養科目を重点的に受講することにより、教養あるグローバル・リーダーの素養を獲得することが期待される。</p> <p>他方、米国の相手大学からの受入学生に対する留学中の特別カリキュラム (Integrated Study Year Curriculum) として、①日米共同ゼミ、②グローバル・リーダーシップ・フェローズ・フォーラム、③英語による専門科目の提供、④日本語の学習機会の提供、⑤日本でのインターンシップの提供を計画・準備しており、特に、①と②は日米双方の学生が相互理解を深め、自ら課題を設定し解決していく優れた機会と考えられ、その着実な実施と優れた成果が期待される。</p> <p>なお、派遣学生数については、数値目標をやや下回っているため、全学部から多様な学生の参加を確保することにより、数値目標を達成することが望まれる。</p>